

平成29年度
北区飛鳥山博物館事業計画

1 平成29年度展示・イベント・講座・講演会事業計画のポイント

(1) 展示事業

○常設展示室活用展示の実施

・28年度に行わなかった常設展示活用&回想法導入展示を復活する。

(2) 講座・講演会事業

○コラボレーション活動の推進

他機関や市民などと共に企画する講座を行う。

○利用者の拡充

新たな利用者が参加できるような講座の工夫を行う。

2 展示・イベント・講座・講演会事業数

(1) 展示

企画展	3回
特別展覧会	1回
夏休みわくわく展示	1回
学校対応事業展示	1回
ミニ展示	1回
常設展示室活用展示	1回
その他の展示	1回
計	9回

(3) 講座・催し物

一般向け講座	31講座	39回
展示関連講座	15講座	21回
わくわく講座	13講座	25回
計	59講座	85回

(2) イベント

夏休みわくわく	
ミュージアム	1回
GO!ゴー!	
ミュージアム	1回
計	2回

平成29年度の事業

※名称は仮称、実施日・回数は予定です。

1. 展示

★ 企画展 3回（内1回は28年度事業）

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	平成28年度春期企画展「浮世絵の楽しみ 異なる主題による4回のキュレーション 展示実践」	3月11日（土）～ 6月18日（日）	特別展示室 ホワイエ	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>江戸時代から近代にかけて北区の名所を描いた浮世絵は、これまでに約400点以上の存在が知られている。これらの浮世絵は、文字資料からではうかがい知れない貴重な地域情報に満ちていて、いにしへの飛鳥山・王子稻荷社・滝野川の光景を今に伝えている。今回の展示では館蔵の北区関連の浮世絵系風景版画約160点の中からよりすぐった資料を、それぞれ異なる4つの主題にもとづき、テーマ展示を行う。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>絵画表象の中に地域の歴史を解読することを通じて郷土の関心を高めることを目指す。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	秋期企画展「縄文人の一生－西ヶ原貝塚にくらした人々－」	10月24日（火）～ 12月10日（日）	特別展示室 ホワイエ	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>西ヶ原貝塚を中心に縄文人の活動やライフスタイルを考える展示とする。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>展示を通して縄文人の暮らしを身近に感じてもらう。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
3	春期企画展「若一王子社縁起絵巻と徳川家光」	平成30年3月17日（土） ～5月6日（日）	特別展示室 ホワイエ	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>当館所蔵の「若一王子社縁起絵巻」の公開を目的にした企画展。徳川家光と北区との関わりを、当該の絵巻を中心に展示し、また平塚明神縁起絵巻や王子村犬追物関連資料に示された近世初期幕藩体制と地域史について検討を加える。</p>				

<p>〈ねらい〉</p> <p>これまであまり当館では展示されてこなかった江戸時代初期の寛永年間の地域史を紹介することによって、来館者の知的好奇心に訴求致したい。</p>	<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>
<p>〈備 考〉</p>	

★ 特別展覧会 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	特別展覧会「第16回 人間国宝奥山峰石と北区の工芸作家展」	9月9日(土)～ 10月9日(月・祝)	特別展示室 ホワイエ	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>北区在住の鍛金工芸作家である人間国宝・奥山峰石氏を中心に、北区にゆかりのある工芸作家の作品を一堂に展示する。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>区民に美術工芸作品を身近に鑑賞する機会を供し、美術工芸分野に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

★ 夏休みわくわく展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム☆ 2017「ドキドキ土器図鑑ー遺跡発！北区のやきもの大集合ー」	7月22日(土)～ 8月27日(日)	特別展示室	安武
<p>〈概 略〉</p> <p>「夏休みわくわくミュージアム☆2017」の一環。北区内からみつかったさまざまな焼き物のうち、縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器といった遺跡からの出土土器に焦点をあて、その形や文様、作り方などを紹介するもの。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>自由研究への素材提供。考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>小学5・6年生と保護者</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

★ 学校対応事業展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、さわって！昔の道具	平成30年1月6日(土)～ 2月28日(水)	特別展示室	中野
<p>〈概 略〉 小学校中学年の「むかしをしらべる」の単元に対応する事業。館所蔵の明治の終わり頃から昭和の中ごろの生活用具を展示。</p>				
<p>〈ねらい〉 昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。</p>			<p>〈対 象〉 小学生および一般</p>	
<p>〈備 考〉 学校対応は展示と共に昔の道具（既製品）を使う体験事業とセットで行う。一般の方の展示観覧は土・日・祝日および平日の学校見学が入っていない時間帯。</p>				

★ ミニ展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	あすかやま十二支一戌一	12月12日(火)～ 平成30年1月31日(水)	ホワイエ	田中
<p>〈概 略〉 平成30年の干支「戌・犬」にちなんだ資料1点を展示し、関連することについて解説するもの（展示資料未定）</p>				
<p>〈ねらい〉 干支の展示を行うことによって、正月という季節感を味わう。閑散期の集客力アップをはかる。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

★ 常設展示室活用展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	〈回想のための〉テーマ展示「オボエテマスカ？—あの暮らし・この道具—」	平成30年3月10日(土) ～6月17日(日)	常設展示室	久保埜
<p>〈概 略〉 回想法の手法を導入しながら、当館所蔵の生活用具等の資料を水塚の母屋とその周囲に展示する。</p>				
<p>〈ねらい〉 常設展示を活用しながら、高齢者、特に高齢者施設の利用を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

★ その他の展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	東京文化財ウィーク「東京9区文化財古民家めぐり合同展示」	10月～11月の1か月間	特別区会館 1階ロビー	山口
<p>〈概 略〉 9区古民家のパネル展示。</p>				
<p>〈ねらい〉 古民家への理解を促進する。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

2. イベント

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム☆2017	7月22日(土)～ 8月27日(日)	特別展示室 ホワイエ 常設展示室 体験学習室	安武
<p>〈概 略〉 博物館で北区の魅力を再発見してもらうために、館内各地でさまざまな催し物を行う。特別展示室では「ドキドキ土器図鑑—遺跡発！北区のやきもの大集合—」を実施（概要は夏休みわくわく展示参照）。ホワイエでは「地域しらべのスヌメコーナー」を設置し、自由研究をサポートする。また、同じホワイエにおいては「絵本&ぬり絵コーナー」を設置。常設展示室では楽しんで展示を巡る「ブラック・コン吉を探せ！」を行う。さらに、体験学習室を中心に各所講座を開催する（詳細は夏休みわくわく講座参照）。</p>				
<p>〈ねらい〉 夏休みの自由研究の宿題につながる催し物とする。また、絵本&ぬり絵コーナーとブラック・コン吉を探せ！は未就学児でも博物館を楽しんでもらうために実施。</p>			<p>〈対 象〉 小中学生とその家族</p>	
<p>〈備 考〉</p>				
2	飛鳥山3つの博物館合同企画「GO!GO!ミュージアム2017」	10月7日(土)・8日(日)	常設展示室 体験学習室	鈴木
<p>〈概 略〉 3館の常設展示室をめぐるクイズラリーを実施。その他各館独自のイベントを行う。当館は体験学習室において勾玉ストラップづくりを実施。</p>				

<ねらい> 区民まつりに参加し、3館をPRする。普段博物館をあまり利用しない人に身近に感じてもらうようにする。	<対 象> 一般
<備 考>	

3. 講座・講演会

★ 一般講座 31講座 39回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	春暖の旧中山道を歩き滝野川へ向かう！	4月15日(土)	講堂 野外	30名	中野
<概 略> 志村一里塚より平尾一里塚跡を経て滝野川三軒家付近まで歩く。里程を実感すると共に街並みや歴史遺産を観察する。					
<ねらい> 近代までメインストリートであった旧街道について理解を深めるとともに、滝野川との関わりを学ぶ。			<対 象> 一般		
<備 考> 新規講座。					
2	考古楽講座<中級編> 考古学を学ぶーお墓の話・横穴墓ー	4月23・30日各(日) 全2回	講堂	80名	安武
<概 略> 台地や丘陵の斜面に、穴をあけて造られた古代のお墓「横穴墓」の特徴や、北区での調査状況について詳しく解説する。					
<ねらい> 遺跡への理解や関心を高める。新規来館者の獲得。			<対 象> 一般		
<備 考> 継続講座。					
3	随筆にみる本郷台・十条台・赤羽台	5月13日(土)	講堂 野外	40名	中野
<概 略> 江戸っ子随筆家で知られた登山家冠松次郎の作品を購読し、希望者のみ実家の本郷から本家の日暮里まで巡検する。					
<ねらい> 座学で覚えた古地理を現在の地理と重ねあわせ、体感する。			<対 象> 一般		

<p>〈備考〉 新規講座。</p>					
4	こんにちは赤ちゃん体験講座「アーユレディ？博物館でお産準備」	5月14日（日）	ホワイエ 体験学習室	20名	安武
<p>〈概略〉 体操を通しての妊婦の身体づくりと、安産や子どもの健やかな成長を願う郷土玩具「犬張り子」づくりを行う。</p>					
<p>〈ねらい〉 博物館利用者の枠を広げる。助産師の方との異ジャンルコラボレーション。</p>			<p>〈対象〉 北区内在住または在勤の妊婦とその家族（4名まで）の2～5名1組</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
5	北区遺跡学講座2017「中里峡上遺跡」	5月20日（土）	講堂 野外	30名	中島
<p>〈概略〉 区内の1遺跡について詳しく解説し、実際に現地を踏査するもの。今回は中里峡上遺跡を取り上げる。</p>					
<p>〈ねらい〉 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
6	飛鳥山3つの博物館合同企画「歴史発見！街めぐりー江戸から近代の谷中・上野を歩くー」	5月27日（土）	講堂 野外	35名	鈴木
<p>〈概略〉 区内に遺された、飛鳥山3つの博物館にまつわる史跡などを3館の学芸員がレクチャーを交えながらめぐる。今回は谷中・上野界隈を歩く。</p>					
<p>〈ねらい〉 街に残る身近な歴史を、自らの足でたどって実感してもらう。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。午前中に座学を行い、午後に現地見学。</p>					
7	中世豊島郡の民俗芸能と村落秩序	6月4日（日）	講堂	80名	石倉
<p>〈概略〉 中世豊島郡域の農村の暮らしを、今に残る民俗芸能やその演目からたどる。</p>					

〈ねらい〉 これまでに実施してこなかった内容であり、新規利用者の拡充につなげる。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 新規講座。					
8	北区遺跡学講座2017「南橋遺跡」	6月17日(土)	講堂 野外	30名	牛山
〈概 略〉 区内の1遺跡について詳しく解説し、実際に現地を踏査するもの。今回は南橋遺跡を取り上げる。					
〈ねらい〉 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。					
9	醸造試験所の誕生	6月18日(日)	講堂	80名	山口
〈概 略〉 重要文化財に指定された煉瓦造の「旧醸造試験所第一工場」について建築・試験所設立の目的など解説する。					
〈ねらい〉 醸造協会とのコラボレーションをとおして文化財の周知を図る。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。					
10	座学+野外講座「富士塚めぐり」	6月25日(日)	野外 常設展示室	20名	田中
〈概 略〉 常設展示室にて富士講・富士塚について解説後、午後に十条富士塚および近郊の富士塚をめぐり、富士塚での現地解説の際、富士講や関係者から話をうかがう。					
〈ねらい〉 指定文化財の十条富士塚などを現地でみることによって、富士塚の構造を理解し、関心を高める。地元の方(富士講関係者)とのコラボレーション。		〈対 象〉 一般			
〈備 考〉 継続講座。要観覧料。					
11	ドキュメンタリー「王子田楽の伝承」上映会	7月9日(日)	講堂	80名	田中
〈概 略〉 王子田楽のドキュメンタリー「王子田楽の伝承」(制作岩崎ビデオ、2015年、69分)を上映する。					

毎週の躍りの練習から王子神社大祭での田楽奉納まで、地域に伝わる芸能を受け継ぐ人々の姿を追う。					
〈ねらい〉 北区指定民俗文化財への関心を高めるとともに、伝承への取り組みを広く区民に周知する。田楽衆とのコラボレーションをはかる。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。王子田楽衆の高木基雄氏や撮影者岩崎祐氏をゲストに迎える。					
12	第30回新聞から読む考古学－ 2017年上半期を振り返る－	7月22日（土）	講堂	80名	鈴木
〈概 略〉 新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは！と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2017年上半期の記事を取り上げる。					
〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					
13	ザ！発掘シリーズ 「お宝発見！！御殿前遺跡」	8月26日（土）	講堂	60名	中島
〈概 略〉 東京都埋蔵文化財センターが長期間にわたり発掘調査した御殿前遺跡（国土交通省所管研修棟建設地）の報告書が平成29年3月に刊行される。出土品や遺構は旧石器から近世に至る豊富な内容を有するもので、速報としてその成果を紹介する。					
〈ねらい〉 郷土の歴史を知り、埋蔵文化財保護の理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
14	映像企画2017特別セミナー	9月17日（日）	講堂	60名	中野
〈概 略〉 開館以降約20年間にわたり継続してきた映像企画関連の事業に一区切りつけるため、東京都写真美術館に所属する映像資料の専門家から話をしていただき、その後担当学芸員間とで対談する。					
〈ねらい〉 博物館における映像資料に関心をもってもらう。東京都写真美術館学芸員とのコラボレーション。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。講師：東京都写真美術館学芸員。					

15	戦中期消費組合運動と滝野川	9月23日(土)	講堂	80名	石倉
<p>〈概 略〉 総力戦となったアジア太平洋戦争末期、滝野川地区で活動した滝野川消費組合について、当時の資料からその動向と展開のあとを講義する。</p>					
<p>〈ねらい〉 これまでに実施してこなかった内容であり、新規利用者の拡充につなげる。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
16	飛鳥山3つの博物館合同企画 GO! ゴー! ミュージアム20 17「勾玉ストラップをつくろ う!」	10月7日(土)・8日 (日)	体験学習室	200 名	鈴木
<p>〈概 略〉 各館がそれぞれ体験行事を開催。飛鳥山博物館は勾玉ストラップ作りを予定。</p>					
<p>〈ねらい〉 区民まつりに参加し、3館をPRする。普段博物館をあまり利用しない人に身近に感じてもらうようにする。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
17	文化財講演会	10月15日(日)	講堂	80名	山口
<p>〈概 略〉 北区の文化財に係る講演会。内容未定</p>					
<p>〈ねらい〉 広く区民に文化財に対する関心を持ってもらう。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。外部講師を依頼する予定。</p>					
18	中世農民闘争と荘園代官豊島氏	10月21日(土)	講堂	80名	石倉
<p>〈概 略〉 鎌倉時代から南北朝期にかけて頻発した鶴岡八幡領荘園佐々目荘の農民闘争と荘園代官を勤めた中世武士団豊島氏との関係を、具体的に中世古文書を通じて考察する。</p>					
<p>〈ねらい〉 これまでに実施してこなかった内容であり、新規利用者の拡充につなげる。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		

<p>〈備考〉 新規講座。</p>					
19	東京9区文化財古民家めぐり「旧松澤家住宅説明会」	10月22日(日) 午前・午後 計2回	北区ふるさと農家体験館	各回 30名	山口
<p>〈概略〉 北区ふるさと農家体験館運営協議会と共同で見学会を行う。ふだん見ることができない屋根裏も公開。</p>					
<p>〈ねらい〉 古民家への理解促進を図る。北区ふるさと農家体験館運営協議会とのコラボレーション。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。協議会との日程調整が必要(日程変更の可能性あり)。解説員を協議会に依頼。</p>					
20	東京文化財ウィーク 北区文化財めぐり	10月28日(土)	野外 常設展示室	30名	山口
<p>〈概略〉 王子神社から旧古河庭園まで明治通り・本郷通り沿いの国・都指定文化財を中心に学芸員が解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 区内の文化財を知ってもらうことと併せて、考古、渋沢史料館学芸員とのコラボレーションをはかることで、より深い解説を提供する。常設展示室の利用促進。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。博物館常設展示室(丸木舟等)、渋沢史料館(晩香廬・青淵文庫)、旧古河庭園はそれぞれの施設の担当者に解説を依頼。</p>					
21	川柳で読み解く江戸散歩	11月4日(土)	講堂	80名	石倉
<p>〈概略〉 平成28年度も好評を博した、たばこと塩の博物館学芸員による江戸文化史講座を本年も実施する。</p>					
<p>〈ねらい〉 広く江戸生活文化への興味関心を喚起する。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。外部講師：たばこと塩の博物館学芸員。</p>					
22	北区を彩った女性たち	11月5日(日)	講堂	80名	久保埜
<p>〈概略〉 芸能、医療、文学など、さまざまなジャンルで活躍した北区ゆかりの女性たちの生きざまを、時代</p>					

背景を解説しながら紹介する。					
〈ねらい〉 主に地域に関心を持ち始めた方々を対象に、気軽に参加できる講座を提供する。【利用者拡充】			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座。					
23	ちびっこ体験講座「あすかやまのどんぐりで、おもちゃをつくろう！」	11月11日(土)	体験学習室 飛鳥山公園	30名	安武
〈概 略〉 自然観察をしながら、飛鳥山公園内に落ちているどんぐりを拾って、オリジナルのでんでんたいこと、マラカスを作る。					
〈ねらい〉 博物館利用者の枠を広げる。			〈対 象〉 北区内在住または在園の未就学児(4、5歳児)とその保護者の2~3名1組		
〈備 考〉 継続講座。雨天時翌日開催。					
24	文化財公開事業「稲付の餅搗き唄」の実演と体験	11月25日(土)	北区ふるさと農家体験館	300名	山口
〈概 略〉 稲付の餅搗き唄の公開事業。					
〈ねらい〉 北区指定無形民俗文化財の周知を図るとともに、文化財を伝える取り組みを行っている小学校の紹介を広く区民に周知する。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。稲付餅つき唄保存会へ事業委託。西が丘小に事業参加依頼を行う。当日自由参加。					
25	幻の江戸東京野菜・亀戸大根の産地を訪ねる	11月30日(木)	講堂 野外	30名	中野
〈概 略〉 東京城東地区で古くから栽培されてきた短根種の亀戸大根の生産地を実際に訪ね、その形状を確かめるとともに、農家から話を伺う。					
〈ねらい〉 東京に伝わる伝統野菜について理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。					

26	いざ、鎌倉！考古編・探訪編	12月9日（土）・16日（土）全2回	講堂 野外	30名	牛山 石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>考古編は鎌倉街道中つ道を考古学的視点から考察する。探訪編は鎌倉街道の出発地であり終着地である鎌倉市内の史跡を探訪する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>他分野の学芸員とのコラボレーションを活性化し、参加者の興味関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
27	第31回新聞から読む考古学－2017年下半年を振り返る－	12月24日（日）	講堂	80名	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは！と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2017年下半年の記事を取り上げる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>考古学の世界を楽しみ、理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
28	北区の考古学〈地域編〉 赤羽	1月27日（土）・28日（日）・2月3日（土）・4（日）全4回	講堂	80名	安武 鈴木 中島 牛山
<p>〈概 略〉</p> <p>北区内の1地域に注目して、その地域の古代の諸相について解説する講座の。今回は赤羽地域、特に赤羽台を時代ごとに解説する、考古担当学芸員によるリレー講座。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。</p>					
29	飛鳥山3つの博物館合同企画「飛鳥山1日大学」	2月25日（土）	講堂	80名	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>講座を1日だけ開かれる大学にみたくて、授業形式で行う。講師は3館の学芸員がつとめ、講義は3館にかかわる事象の中から共通するテーマを選んで行う。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>各館の特色を知ってもらい、PRにつなげる。飛鳥山3つの博物館の一体感を印象付ける。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		

<p>〈備考〉 継続講座。学生証・修了証を配布。</p>					
30	サクラという樹木を知る	2月24日(土)	講堂 飛鳥山公園	80名	久保埜
<p>〈概略〉 専門家にサクラの樹木としての性質や種類、現状などについて解説していただく。あわせて、飛鳥山のサクラを巡見し、歴史等については学芸員が説明する。</p>					
<p>〈ねらい〉 飛鳥山の特性である桜について理解を深め、地域への関心や問題意識を促す。専門家とのコラボレーション。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座。外部講師未定。開館20周年記念事業とするか要検討。</p>					
31	考古楽講座 遺跡に行こう！春	3月3日(土)・4日(日) 全2回	講堂	30名	鈴木
<p>〈概略〉 各地に残る遺跡を訪ね、体感する講座。探訪先は未定。</p>					
<p>〈ねらい〉 考古学への関心を高める。参加者同士の交流をはかり、友の会のような団体への発展を促す。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。昨年度に引き続き「区民との協働」を視野にいれ、サポーターの方々と事前の実地踏査、当日の見学会までを行う。</p>					

★展示関連講座 15講座 21回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	浮世絵の愉しみ キューレーションとワークショップ	4月8日(土)	講堂	24名	石倉
<p>〈概略〉 江戸時代から近代にかけて北区のけいしょを描いた浮世絵の複製画をさまざまに組み合わせて、名所の魅力を知る講座。</p>					
<p>〈ねらい〉 このワークショップを通じて、市民参加型の講座のコラボレーション活動の推進に資する。また、参加型の講座により利用者の拡充も期待される。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座</p>					

2	常設展示活用講座 中世熊野と武士団・豊島氏	5月21日(日)	講堂 常設展示室	40名	石倉
<p>〈概 略〉 熊野那智大社文書に記された中世荘園豊島庄と武士団豊島氏の動向について、解りやすく解説する。</p>					
<p>〈ねらい〉 常設展示室を活用するために、講義に適した講堂での講義のあとで、常設展示の見学を行う。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。要観覧料。</p>					
3	王子貝層の謎を解く！	6月10日(土)	常設展示室 野外	25名	中野
<p>〈概 略〉 今から12、3万年前、海底に堆積した地層である王子貝層について、学史や性状・分布を学ぶと共に近隣の模式地を訪ねる。</p>					
<p>〈ねらい〉 従来のサロン講座に現地探訪をミックスして受講者にさらなる関心を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。要観覧料。</p>					
4	特別展覧会付帯事業 作家が語る！作品解説	10月1日(日)	特別展示室	20名	久保埜
<p>〈概 略〉 制作の意図や技術についてより理解を深めてもらうことを目的として、出展作家(各回4~5名)が自らの作品の意図や技法などについて解説をおこなう。</p>					
<p>〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。日程変更の可能性あり。</p>					
5	特別展覧会付帯事業 金工に親しみ学ぶ講座	9月16日(土)	体験学習室	13名	久保埜
<p>〈概 略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家のうち1名を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。</p>					
<p>〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。日程変更の可能性あり。</p>					

6	特別展覧会付帯事業 陶芸を楽しみ学ぶ講座	9月18日(月・祝)	体験学習室	20名	久保埜
<p>〈概 略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家のうち1名を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。</p>					
<p>〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。日程変更の可能性あり。</p>					
7	特別展覧会付帯事業 人間国宝に学ぶ! 鍛金体験講座	9月24日(日)計2回 (午前・午後)	体験学習室	11名	久保埜
<p>〈概 略〉 工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、人間国宝・奥山峰石氏の講師に迎えて、金属のストラップなどを製作する。</p>					
<p>〈ねらい〉 美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。日程変更の可能性あり。</p>					
8	常設展示活用講座「縄文人骨が語ること」	9月30日(土)	常設展示室	20名	安武
<p>〈概 略〉 西ヶ原貝塚出土人骨を例に、人骨からわかる縄文人の衣食住について解説するもの。</p>					
<p>〈ねらい〉 資料を間近で観察してもらおう。常設展示室の利用促進。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。秋期企画展プレ講座。要観覧料。</p>					
9	秋期企画展体験講座「土偶をつくろう!」	12月3日(日)	体験学習室	24名	鈴木
<p>〈概 略〉 西ヶ原貝塚出土の筒形土偶をつくる。</p>					
<p>〈ねらい〉 体験を通して筒形土偶の製作方法を知ってもらい、縄文人を身近に感じてもらう。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					

10	考古楽講座 遺跡に行こう！秋 special	11月18日(土)・19日(日)・26日(日) 全3回	講堂 野外	30名	鈴木
<p><概 略> 各地に残る遺跡を訪ね、体感する講座。企画展にあわせて貝塚など縄文遺跡を訪ねる。</p>					
<p><ねらい> 考古学への関心を高める。参加者同士の交流をはかり、友の会のような団体への発展を促す。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 継続講座。昨年度に引き続き「区民との協働」を視野にいれ、サポーターの方々と事前の実地踏査、当日の見学会までを行う。</p>					
11	秋期企画展講演会	12月10日(日)	講堂	80名	鈴木
<p><概 略> 外部講師を招いて西ヶ原貝塚を中心に縄文人の暮らしについて講演してもらう。</p>					
<p><ねらい> より専門的な内容を外部講師から紹介してもらう。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 新規講座。日程変更の可能性あり。外部講師未定。</p>					
12	学校対回事業展示ギャラリー ーク	1月7日(日)・2月5日(日)計2回	特別展示室	30名	中野
<p><概 略> 「来て、見て、さわって！昔の道具」展の関連事業</p>					
<p><ねらい> 一般向けに解説を試みる。</p>			<p><対 象> 一般</p>		
<p><備 考> 継続講座。</p>					
13	じっくり読み解く北区の浮世絵	1月13日(土)	講堂 常設展示室	40名	久保埜
<p><概 略> 当館所蔵の浮世絵を素材に、細部の図像まで観察しながら、浮世絵に描かれた情報を読み解く。1時間程度のミニ講座として、常設展示室の浮世絵コーナーの見学を加える。</p>					
<p><ねらい> 気軽に参加できるミニ講座として設定し、地域の歴史への関心・理解へつなげる。</p>			<p><対 象> 一般</p>		

<p>〈備考〉 新規講座。要観覧料。</p>					
14	常設展示活用講座「ドキドキ考古資料にさわってみよう！」	3月17日(土)計3回	常設展示室	45名 (1回 15名 ×3回)	鈴木
<p>〈概略〉 常設展示室内の考古資料に触れながら回るガイドツアー。縄文時代と弥生時代、古墳時代の土器や石器、埴輪に触れてもらい、解説を行う。</p>					
<p>〈ねらい〉 普段は触れることのできない展示資料に触ってもらって、展示を楽しんでもらう。ユニバーサルデザイン。常設展示室の利用促進。</p>			<p>〈対象〉一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座。要観覧料。1回60分。3回に分けて実施。①10:30~②13:30~③15:30~</p>					
15	春期企画展関連講座「若一王子社縁起と徳川家光」	3月18日(土)	講堂	80名	石倉
<p>〈概略〉 当館所蔵の「若一王子社縁起」を題材に、近世初期の地域における幕藩権力の動向を、徳川家光による王子神社社殿築造の歴史から学ぶ。</p>					
<p>〈ねらい〉 春期企画展開催にあわせて展示をより理解するため実施する。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座。</p>					

★ 夏休みわくわく講座 13講座 25回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	夏休み土器づくり教室	7月23日・30日AM・PM・8月6日各(日)・11日(金)計5回	体験学習室	各 16組 32名	鈴木 安武
<p>〈概略〉 縄文人と同じ輪積み技法で小さいサイズ(1kg)の縄文土器を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。</p>			<p>〈対象〉 小学3年生~中学生と保護者の2名1組。</p>		

<p>〈備考〉 継続講座。親子で1つの土器を作る。</p>					
2	江戸の縁起物【絵馬】を作ろう！	7月25日(火)・8月12日(土)計2回	体験学習室	各 16組 32名	石倉
<p>〈概略〉 板にボスカで塗って昔ながらの絵馬を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 近世の縁起物の奥深い世界を、体験学習を通じて学ぶ。</p>			<p>〈対象〉 小学生～中学生と保護者の2名1組。</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
3	夏休み勾玉づくり教室	7月26日・8月2日・9日・16日各(水)・20日(日)計5回	体験学習室	各 16組 32名	鈴木 安武
<p>〈概略〉 区内でも出土している勾玉を、当時と同じように作る。石は「青田石」を予定。</p>					
<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。</p>			<p>〈対象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組。</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。保護者も製作可。</p>					
4	地下鉄南北線車庫見学会	7月27日(木)	講堂 現地	20組 40名	中野
<p>〈概略〉 東京メトロ南北線の車庫を訪ね、構内設備と車両整備の様子を見学する。</p>					
<p>〈ねらい〉 北区の鉄道史に関心を持ってもらうきっかけ作りとする。</p>			<p>〈対象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組。</p>		
<p>〈備考〉 継続講座。</p>					
5	チャレンジ！昔の手仕事～藍染～	7月28日(金)・29日(土)計2回	体験学習室	各 24名	久保埜
<p>〈概略〉 藍染の歴史を学びながら、絞り染めのハンカチを作る。</p>					

〈ねらい〉 低年齢層の利用を促す。		〈対 象〉 小学生2名までと保護者1名の2~3名1組。			
〈備 考〉 継続講座。					
6	夏休み縄文人なりきり体験教室	8月4日(金) 午前・午後 計2回	講堂 搬入口周辺	各回 30名	安武
〈概 略〉 外部講師に依頼し、縄文時代の衣食住にかかわる体験(縄文服体験、火おこし体験、石斧体験、石皿・磨石体験など)を行うもの。参加者には「なりきり縄文人認定証」をプレゼントする。					
〈ねらい〉 縄文文化への理解や関心を高める。他機関とのコラボレーション。		〈対 象〉 小学3年生~中学生2名までとその保護者1名の2~3名1組。			
〈備 考〉 継続講座。東京都埋蔵文化財センターとの共同事業。					
7	都電荒川線車庫見学会	8月3日(木)	講堂 現地	20組 40名	中野
〈概 略〉 都電荒川線の車庫を訪ね、構内整備と車両整備の様子を見学する。					
〈ねらい〉 北区の鉄道史に関心を持ってもらうきっかけ作りとする。		〈対 象〉 小学3年生~中学生と保護者の2名1組。			
〈備 考〉 継続講座。					
8	昔のおもちゃを作って、いっしょに遊ぼう	8月1日(火)	体験学習室 講堂	32名	久保埜 鈴木
〈概 略〉 割り箸鉄砲など、昔ながらの手作りおもちゃを作り、全員で実際に遊んでみる。					
〈ねらい〉 低年齢層の利用を促す。		〈対 象〉 年長~小学生2名までと保護者1名の2~3名1組。			
〈備 考〉 継続講座。					
9	飛鳥山3つの博物館合同企画 「第9回3館まとめてクイズラリー めざせ!あすか山クイズ	8月5日(土)	講堂 常設展示室	10組 20~ 50名	鈴木

	王J				
<p>〈概 略〉 各館の常設展示室の内容をテーマにしたクイズを解きながら3館を巡る。</p>					
<p>〈ねらい〉 3つの博物館を楽しみながら知ってもらう。</p>			<p>〈対 象〉 小学生と保護者の2～5名 1組</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
10	牛乳パックで行燈づくり	8月10日(木)	北区ふるさと農家体験館	16組 32名	山口
<p>〈概 略〉 牛乳紙パックと豆電球を使って、昔の灯りの道具・行燈を作る。完成後は古民家で昔の暗さを感じつつ、灯りをとます。</p>					
<p>〈ねらい〉 昔の明かりの明るさを体験してもらう。北区ふるさと農家体験館の周知。</p>			<p>〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
11	博物館オリジナル・ブローチを作ってみよう	8月13日(日)	体験学習室	28名	久保埜
<p>〈概 略〉 常設展示室で、あらかじめピックアップした資料(5点程度)を中心に紹介し、各自気に入った資料をモチーフとして、樹脂粘土のブローチを作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 低年齢層の利用と、歴史資料への関心と観察を促す。</p>			<p>〈対 象〉 小学生2名までと保護者の2～3名1組</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。</p>					
12	石神井川の秘密を探ろう!	8月17日(木)	体験学習室 野外	10組 20名	中野
<p>〈概 略〉 石神井川の河道の変化と現在残っている地形について、座学と野外探訪を組み合わせ学習する。</p>					
<p>〈ねらい〉 石神井川の流れについて関心を持ってもらうきっかけ作りとする。</p>			<p>〈対 象〉 小学5年生～中学生と保護者の2名1組</p>		

<備 考> 継続講座。					
13	和のデザインで団扇作り	8月18日(金)・19日(土) 計2回	体験学習室	16組 32名	田中
<概 略> 団扇が江戸時代から身近な道具であったこと、自分で紙を張り替えて使っていたことを説明したのち、骨に紙を貼って団扇をつくり、千鳥・流水・菱など、和の模様を使った切絵で団扇をつくる。					
<ねらい> 昔の人は道具(団扇)を修理しながら大切に使っていたことを伝える。自分だけの団扇を作ることで、モノづくりの楽しさを知ってもらう。			<対 象> 小学3年生～中学生と保護者の2名1組		
<備 考> 新規講座。					

4. 学校対応・支援事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、さわって！昔の道具	平成30年1月6日(土)～2月28日(水)	特別展示室 野外 講堂	中野
<概 略> 小学校中学年の「むかしをしらべる」の単元に対応する事業。館所蔵の明治の終わり頃から昭和の中ごろの生活用具を展示し、調べ学習を行う。また、昔の道具(既製品)を使う体験事業(かまど体験・せんたく体験・ふろしき体験)とセットで行う。				
<ねらい> 昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。			<対 象> 区内小学校中学年	
<備 考>				
2	体験授業(考古学)	通年(依頼に応じて実施)	体験学習室	鈴木 安武
<概 略> 土器作りや勾玉作りを当時と同じ方法で行う。				
<ねらい> 大昔の人の技術や工夫を学ぶ。			<対 象> 区内小学校6年生	
<備 考>				

3	出張授業	通年（依頼に応じて実施）	依頼先学校	学芸員
〈概 略〉 北区の歴史や自然、民俗に関することを学校に赴き授業を行う。				
〈ねらい〉 北区の歴史や自然、民俗についての理解を深める。			〈対 象〉 区内の小学校・中学校・ 高等学校	
〈備 考〉 内容によって担当学芸員を決定。				
4	職場訪問・体験	通年（依頼に応じて実施）	館内各所	事務員 学芸員
〈概 略〉 博物館の業務に関して話をしたり、体験をしてもらう。				
〈ねらい〉 博物館の業務の理解を深めてもらう。			〈対 象〉 区内の中学校・高等学校	
〈備 考〉				

5. 学芸員実習

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	博物館実習	7月25日（火）～8月6日（日）	館内	鈴木
〈概 略〉 準職員として本館学芸員とともに日常の博物館業務に携わる。子ども向け事業の準備および実施のアシスタントや館蔵資料の整理作業などを行う。				
〈ねらい〉 学芸員の仕事を実際に行い、体験することで理解を深める。			〈対 象〉 大学等で学芸員養成課程を受講している人	
〈備 考〉 4月に募集をかけ、最大4名を受け入れ。				
2	見学実習	通年（依頼に応じて実施）	館内	鈴木 石倉 久保埜
〈概 略〉 一般の人が普段はいることができないバックヤードを含めた館内を見学し、学芸員が解説する。				
〈ねらい〉 博物館の実態を知ってもらう。			〈対 象〉 学芸員養成課程を開講	

	している大学
〈備考〉	

6. 出張事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	回想法プログラム「昔の道具で思い出がたり」	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関	久保埜
〈概 略〉 博物館が所蔵する古い生活道具を通して、昔の記憶をたどるプログラム。依頼のあった施設まで資料を携えて赴き、資料を見て、触れて、思い出を語ってもらう。				
〈ねらい〉 博物館資料の活用。博物館の社会への有用性を探る。			〈対 象〉 高齢者介護施設など	
〈備考〉				
2	一般講義	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関 講堂	学芸員
〈概 略〉 外部機関からの依頼に応じて講義を行う。				
〈ねらい〉 依頼機関への協力。博物館のPR。			〈対 象〉 一般	
〈備考〉 当館講堂で行う場合でも外部依頼の場合はこれに含む。				

7. 団体見学

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	一般見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
〈概 略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。				
〈ねらい〉 北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。			〈対 象〉 一般団体	
〈備考〉				

担当は窓口。内容に応じて各学芸員が対応。				
2	学校等見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
〈概 略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。				
〈ねらい〉 北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。			〈対 象〉 幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学校	
〈備 考〉 担当は窓口。				

8. 資料の貸出・利用

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の貸出	通年（依頼に応じて実施）	—	鈴木 久保埜
〈概 略〉 館蔵資料を貸し出す。				
〈ねらい〉 他館等への協力。博物館のPR。			〈対 象〉 博物館・研究機関・学校など	
〈備 考〉				
2	資料の利用	通年（依頼に対して実施）	—	鈴木 久保埜
〈概 略〉 館蔵資料の撮影や画像データの提供などを行う。また、研究目的での資料の調査等へ協力する。				
〈ねらい〉 個人や会社などへの協力。博物館のPR。			〈対 象〉 個人・博物館・学校・会社など	
〈備 考〉				

9. 資料の収集

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
-----	-----	--------	----	----

1	資料の寄贈	通年（依頼に応じて実施）	—	久保埜
〈概 略〉 北区やその周辺地域に関する資料等の寄贈を受け入れる。				
〈ねらい〉 地域資料の保護と活用。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				
2	資料の購入	通年（必要ならびに現出に応じて実施）	—	学芸員
〈概 略〉 北区やその周辺地域に関する資料等を購入する。				
〈ねらい〉 地域資料の保護と活用。			〈対 象〉 古美術店・古書店 など	
〈備 考〉				

10. 資料の保全

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	環境調査	5月～6月	館内各所	久保埜
〈概 略〉 虫害・カビの現状を把握するとともに、防除策を総合的に検討するため、全館を対象としたムシ・カビ・塵埃・温湿度を含む総合調査を実施する。				
〈ねらい〉 環境保全。			〈対 象〉 館内	
〈備 考〉				
2	燻蒸	7月1日（土）～7月410日（月）	特別収蔵庫 一般収蔵庫	久保埜
〈概 略〉 館所蔵の博物館資料と、それらが収められている一般収蔵庫及び特別収蔵庫の施設について、殺虫、殺卵、殺カビ効果のある薬品を用いて燻蒸を行う。				
〈ねらい〉 資料の保全。			〈対 象〉 各種資料	

〈備考〉